

九州選抜高校テニス大会 審判必携（SCU）2022

長崎県高体連専門部

1. はじめに

SCUとはSolo Chair Umpire（ソロ チェア アンパイア）の略で、審判が1人だけで行われるラインアンパイアのつかない試合のことを言います。今大会はこのSCU方式が採用されています。そのやり方をしっかり理解し試合が滞りなく行われるよう心がけましょう。

2. SCUの役割

①ポイントのコールとゲームカウントのアナウンス

ポイントのコール、ゲームカウントのアナウンスはポイントが決まってすぐに大きな声でハッキリと言います。アウト、フォルトのジャッジ（コール）は選手が行います。

②スコアシートの記入

ポイントのコールをした後にそのポイントをスコアシートに記入します。

③オーバーラールの適応

明らかにインのボールを「アウト」「フォルト」とジャッジした場合は、「コレクション ボールワズグッド」と言い、アウト（フォルト）のジャッジをした選手の失点としてポイントのコールをする。

*①、②、③は必ず行うこと。

④レットのコール

サーブされたボールが、ネットに触れて正しいサービスエリアに入った場合（サービスレット）は、選手ではなく、SCUが「レット」のコールをします。また、隣のコートからボールが入ってきたときも、SCUが「レット リプレイザポイント ファーストサービス」と言いポイントのやり直しをします。

⑤フットフォルトをしていないかの確認

サーブを打つ構えをしてからボールとラケットが当たる瞬間までの間で、サーバーがラインを踏んだり、ラインを越えたりした場合はフットフォルトになります。ボールとラケットが当たる瞬間に、「フット フォルト」とコールします。

⑥時間の管理

25秒・・・ポイントとポイントの間、過ぎていたら「レッツ プレイ」とアナウンスする。

90秒・・・エンドの交代、60秒経過したら「タイム」、75秒経過して選手がコートに入っていなかったら「フィフティーン セカンズ」とアナウンスする。

120秒・・・セット間、90秒経過したら「タイム」、105秒経過したら「フィフティーン セカンズ」とアナウンスする。

*④、⑤、⑥は状況に応じて行うこと。